

ファン・プロジェクト・まくべつ ニュースレター vol.2

●第2回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！

令和2年11月14日（土）に第2回ファン・プロジェクト・まくべつを開催しました！大人10名、小学生9名がそれぞれのプログラムに取り組み、前回の話し合いの結果を元に、明野ヶ丘公園と幕別町のこれからについてさらに考えを深めていきました。



大人チーム

●「こうなったらいいな明野ヶ丘公園・幕別のまち」

アイデア（一部）



●こうなったらいいな明野ヶ丘公園

- ・公園の資源を活かしきれていないので、「明野ヶ丘公園でしかできないこと」を考えたい。
- ・人が来るための仕掛けが不足している。
- ・公園をイベントなどで使いたいときに相談でき、アイデアに乗ってくれる受け皿があると良い。



●こうなったらいいな幕別のまち

- ・地域全体で子どもを育て、子どもたちが素直に育つことができる環境を守りたい。
- ・「子ども」をテーマにするとみんなで協力してまちづくりに取り組めるのではないかな。
- ・次の世代のためのまちづくりでもあるが、まずは自分のためという考え方で当事者意識を持ってまちづくりを進めたい。

小学生チーム

●「幕別みらい物語をつくろう！」

新しい明野ヶ丘公園をつくるために奮闘する女の子の物語は、なんとエンディングが2通りとなりました。物語のイメージをふくらませながらみんなで挿絵も描きました。

起・承・転までの物語は前回のニュースレターをご覧ください！



起



承



転



結

エンディング①：ばくはつエンド

女の子のお店で大爆発が起き、明野ヶ丘公園のなにもかもをふっとばしてしまいました。

唯一無事だったコロツケも、謎の声の主である神様がむしゃむしゃと全部食べつくしてしまい、後には何も残らなかったのです。

エンディング②：ハッピーエンド

突然、全てを破壊する敵や神様が現れました。しかし、女の子はこれまで作ってきたコロツケを食べ、敵を見事にやっつけたのです。

平和が戻った明野ヶ丘公園は、人々にぎわう素晴らしい公園となりました。女の子はそれを見て、「やっぱり明野はいいなあ」と思うのでした。めでたしめでたし。

